

未来を生き抜くために

～今やっておかないといけない幼児教育～

昨年度の2018年度から保育園、幼稚園、認定こども園の3つの指針・要領が同時に改定されたこのことにより、これからの幼児教育ということが明確になり、保育園、幼稚園認定こども園の幼児教育が統一された。

では、なぜ今改定が必要だったか？

それはまず時代変化ということである。いま私たちの生活の中はコンピュータであふれている。

10年前と比べても技術革新はめまぐるしい。10年前はまだスマートフォンが珍しかったかもしれないが、今は老若男女問わずスマホを持っている。

スマホがあるのが普通になっているのである。しかも、10年前と比べるとスマートフォンの性能も格段に上がっている。

20年前にはこんな時代が来ることを全く想像できなかったわけである。

つまり、10年後の世の中は今とは全く違う時代になっているということも容易に想像できる。

そんな時代を生き抜くために、今の子どもたちはどういう幼児教育を受けなければならないか？

ということから、この度の指針・要領の改訂が行われたわけである。

まとめると、21世紀という時代は技術刷新や環境の変化が急速に進む時代であり、ネットやAIが台頭する時代である。

その時代の中で生き抜ける人間を育てる教育が必要となった。

また、それには特に幼児期の育ちが大事ということが研究によりわかってきたのである。

そこで、幼児教育の見直しが行われこれからの時代に必要な力をきちんとつけられるような内容が明記されたのである。

次回からは実際にどう変わったか、どういう視点か、ということをお伝えしていきたいと思います。(文責園長)

